

せられし君は、今や暹羅國の招聘に應じ、其皇后陛下の設立にかゝる華族女學校の主任者として、彼國の女子教育の爲に、幾多の抱負を有ちて渡航せられぬ。君は實に女子教育の人なり。敬慕すべき女子教育の献身者なり。

かゝる君をはるゝ迎へ得たる彼國の幸福は言はでもしるし、思ふに其女子教育に將來大に見るべきものあるべきなり。等しく東洋に國する人が、國をかへて女子教育の爲に盡さるゝ事真に東洋の爲に賀すべきなり。

風土異なる地に今よりのち幾年を送らるべき君よ。幸に國家の爲に女子教育の爲に自愛せられよ。健全なる身体を以て其企圖を實行せられ、彼國の感謝に送られて、此故國に歸りたまはん日も、われはけさの如く、否今朝の心に成効祝賀の喜を加へてうれしくも君を迎へまゐらせん。

同窓の一人として、其厚誼を辱したるわれは、君の新橋に於けるさよならの聲、途上に見たる車上の君の後姿を忘るゝ能はず、即ち一月二十三日の朝、母校の一室に之を記してさらに君を送る。

懇話會につきて

ふ み 子

方々の學校や幼稚園では家庭との連絡をはかる爲に懇話會といふことの設けがわりまして、時々、家庭の父母なり、兄弟なりを招いて、子供の學んで居る様子、遊んで居る有様を御目にかれたり、ま

た子供の教育上のことについて、互に語り互にはかるといふことになつて居る様であります。私共の幼稚園でも春秋の二季に、この催があります。懇話會はずつとせんには父兄懇話會と申しまして大層しかつめらしく父なり兄なりといふ男の方々が御役所にでもお集りになる事の様な感がありました。

家庭の方でも幾分か左様の感のあつたものと見えまして誰いふとなく、これにおよびだしといふ極めて冷やかな名がついて居りました。けれども懇話會と申すものは元來そんな性質のものでありませんで、其名のごとく打とけて温かに懇話するのが目的でありますから、段々に進んで近來では阿母さんが喜んでお出かけになる様であります。ことに近頃は何處の阿母さんでも子女の教育の事には注意して居られますから、成る丈用事を繰り合せて御出席になる様になりました。誰もおいでにならぬ家庭といふものは極少数であります。中には「懇話會の日には是非出席しようと思つてたのしんで居りましたがあやにく據ない先約がありましたして残念ながら出席いたしかねますから、代りに本日伺ひました」なとおつしやつて前日にお出て下さる方もある位です。斯様な現象は實に「子供の教育のため喜ばしい事だ、子供達を世話して居る人も多くの阿母さんの出席をどんなに嬉しく感ずるか知れません、懇話會に出席することは勿論親たる人の義務でありますが、一家といふものは毎日の繁忙の外の外に不意に色々の出来事のあるもので老人がわるいとか、子供が病氣で手が離されぬとか種々のこ

とがわつて、なか／＼出にくいものであります。其中を務めて御出席下さるのですから私共は之に對して感謝せずには居られませぬ。そして其の感謝の情と共に親子の情について一種の同情が起ります。この同情はやがて保育に莫大の光を添へるのであります。故にたとひ各懇話することが出来なくとも少なからぬ利益はあります。また阿母さん方の方でも自分の子供は幼稚園では如何に遊んで居るか、如何に取扱はれて居るか、友達同志に於て、長上に對してどうであるかといふをなとを御覽になる丈でも良しうございます。まして互に親しく話合をするに至つては相互の爲になることは少くありません。子を知るは親にしかずと申しますから、私共は子供の觀察に付いては阿母さん方から多くの助言を得なければなりません。また子供の家庭に於ける境遇、有様、教育の方針などいふことも伺はなければなりません。同時に私共も之等に付て、幼稚園に於ける有様を語らなければなりません。斯様に於て初めて家庭と幼稚園との連絡がつくのであります。先日もさる阿母さんに其の方の子供が幼稚園では衆兒の頭になつて、よく卒んで遊びなさいますが、どうも誰は入れるのいれぬのと友達の好嫌なさると話しますと、其の阿母さんこれは兼て教育に熱心な阿母さんでありますが、暫く考へられまして末やがて、それは斯様なことが原因であるかも知らんといつて左のことを語られました。

私の家の近處には子供に遊はせたくない卑い子供がおりまして、時々誘ひにまいますから、其時は子供は寝て居るとか何とかいつて返します。

そして後で誰とは遊んでもよいが、わの子供とは遊はれぬといふことをよく云ひ聞かして置きませす。また兼てこういふ風にして居ります。

成るはと其阿母さんのいはれる様に或はこれが友達の好嫌をする原因かもしれませせん。私はこれを伺ふと同時に先にも同じ例のあつたことを思ひ出しました。ほんとに子供はまだ善悪の差別はつきませせんから色々の方面に氣を付けて居りませんと時々斯様な間違はありがちのことでありませす。私はこの阿母さんのお言葉によつて子供を教育するには多方面に注意することの必要并に子供をよい境遇に置くことの大切なことを益々感しました。まだよくわけの分らぬ子供に色々いつて聞かせたり、悪い子供を避けるために子供の前でいつはりをいふよりは、左様な子供のこない様に仕向けて置くのがよろしうございます。實に私共は子供に付きて知るに従つて段々進む道にたよりを得て嬉しく思ひませす。是等は眞に家庭の賜であります。

けれども、なかには子供の幼稚園での様子を話して家庭の有様を伺ひ、そして其取扱方に付いて共に御相談しようなと思つて、或る希望を持つて何か申し出しますと、「いゝえ、私の家では一向左様のとはありません、よく命を聞きませす。」

「いゝえわの子は丈夫でございます。宅の子供の中でも一番壯健でございます。」
 なんと答へられることがあります。斯様な場合は少なからず失望いたします。その子供が家庭でも母の

命を聞かぬことは明かな事實であります。それに阿母さんはそれをかほひかくします。これは勿論子を愛する至情から出たことでありませう。少しでも自分の子供か先生によく思はれよかしといふ、即ち子の幸福を希ふ心から起つたのでありませう、これは實に親心で一寸考へますと無理はありませぬ。しかし、よく考へて見れば決して眞の愛とはいはれません。また永久の愛ではありませぬ。只一時の愛で、しかも愛に溺れて居るのであります。斯様なことは眞に子供の幸福を願ふ心ある阿母さんの仕方ではありませぬ。申すまでもなく子供のよくない處を無暗に人に知らす必要はありませぬから用のない處では語らない方がよろしうございます。けれども我が愛する子供の教育を托して居る人に對してはかくすべきではありませぬ凡て人の情といふものは互に相知るによつてあつくなるものですから良いことなり、わるいことなり、すつかり打ちあけて語られるに従つて、益々同情が起つて、一層力を盡す様になるのであります。故に語る方が却て子供の幸福になるので、かくすといふことは大なる相違であります。

また多數の子供を世話して居る人か同じ様な年齢の子供を澤山比へて見て、この子は大方普通の童よりは体力が劣つて居ると思つても、親はこれを丈夫であるといはれます。斯様な場合には虚弱なのをかくして丈夫であるといはれるのではありませぬで親の心には眞に強壯であると思つて居るのであります。それは或は兄弟姉妹か皆虚弱であるに比すれば稍丈夫であるといふこともありませう。しか

し、普通の子供としては弱いのであります。子を知るは親に如かずといふことは動かすべからざることばてあります。一方から見ますと親といふものは其子を愛するあまりに他人が觀察するごとく虚心平氣に其子を見ることのしがたいもので、とかく自分の子供はよく思はれ易いものであります。またこれと同じ事で自分の子供のいふ事は何でも事實として直に信する傾のあるものであります。處が子供は子供の方で理解して語る事でございしますから随分間違のあるものであります。故に今申しました様な場合には親たる人は少くも他人の言葉をいれて一度は考へて見る丈の覺悟がなければなりません。さうでなければ子女の教育のため眞實に語り合ふことは出来ません。

私は保母の側からして家庭の方に對しての望みを申しました。どうか家庭の方々から私共に向つての注意をお示しになることを願ひます。斯様にして互に改らためてまゐりましたならば懇話會といふものか如何に有益になるでありません。

